

# 第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 10040090

政策目標	4	つるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会 計 区 分	4	簡易水道事業会計	【全体計画内容】 ※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	17	上・下水道の整備	事 業 優 先 度		A	
単位施策	1	水道の安定供給	政 策 事 務 分 類	2	単独自治事務(個別計画)	
事業名	梅小路配水管整備事業		見 直 し 年 度			
事業期間	平成27年度～平成28年度		担 当 課	10	建設水道課	
事業主体	雄武町		関 係 課		#N/A	
事業指標	布設整備延長				#N/A	
事業目標	180m		ハート/ソフト 事業区分	1	ハード事業	
住民参加	無		関係例規・法令名	無		
住民協働	無		関係個別計画名			

全 体 計 画 事 業 内 容		平成 25 年度 事 業 内 容	平成 26 年度 事 業 内 容	平成 27 年度 事 業 内 容	平成 28 年度 事 業 内 容	平成 29 年度 事 業 内 容	
計 画 内 容	町道梅小路道路整備に伴い、配水管整備を実施するものです。			調査実施設計 L=180m 配水管整備工事 橋梁添架管 φ100/φ250 L=16.5m VWP φ100 L=10m DIP(GX) φ100 L=11.3m	配水管整備工事 L=140m ・VWP φ100 L=120m ・DIP(GX) φ100 L=20m ・不断水 2ヶ所		
	事業費(千円)	38,400	0	18,400	20,000	0	
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	29,100		16,500	12,600		
	その他	0					
実 績 事 業 費	事業費(千円)	35,640	0	16,848	18,792	0	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	28,000		16,000	12,000		
関 連 事 項	特定財源の名称 簡易水道事業債 50% 過疎債 50%		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	
	【評価・実績】						
			※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-終了	※事務事業評価結果
	前期計画からの継続 (継続無し)	年度目標値			40m	140m	
	第6期計画への継続 (継続無し)	年度達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	92%	94%	#DIV/0!
	全体達成率	0%	0%	44%	93%	93%	
	備考欄						

事業名	梅小路配水管整備事業	評価者 管理職 職氏名	建設水道課長	田原 慎也
		評価者 作成者 職氏名	水道係長	江田 一夫

様式1  
平成28年度実施  
平成29年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民、水道	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	配水管整備延長		
【抱える課題やニーズは】	配水管破裂による断水		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	生活用水の確保。断水の未然防止		① 整備延長/整備延長実績	目標年度	平成28年度
				目標値	140 m
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	安定供給の確保・強化		②	実績値	148.3 m
		達成度		105.9 %	
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	民間業者による配水管整備の実施	入札により民間業者に発注し、配水管整備を行った。	目標年度	平成28年度	
			目標値		
			実績値		
			達成度	#DIV/0! %	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	生活用水の安定供給確保のための配水管布設は、町が担う必要がある。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	生活用水の供給確保が図られた。 断水事故の未然防止が図られた。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
課題あり	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	入札により事業費が軽減されたことは、効率的であると判断する。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	生活用水の安定供給が維持されたことは、公平であると判断する。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
公平でない	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
配水管整備により断水事故等の未然防止が図られた。		

今後の展開方向  
(Action)

終了		

※展開方向の区分  
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更  
○終了 ○休止 ○廃止